



【今月のTOPICS】

- ◇P1 『所長コラム：従業員の「安心」が組織を強くする。
～相続の悩みに寄り添う福利厚生～』
『今月の言葉』『先月のヒトコマ』
『編集部より』
- ◇P2 『しごと図鑑』スタッフ森田さんの1カ月に密着！』
『補助金プラスよりご案内』

【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
MAIL nagata@office-smile.jp
HP <https://office-smile.jp>

【編集部】

編集長 木下 心路
発行責任者 長田 雅子



従業員の「安心」が組織を強くする。～相続の悩みに寄り添う福利厚生～

経営者様にとって、共に働く社員の皆様はかけがえのない大切な財産です。しかし、もし社員の皆様が「家族の相続」という大きな悩みを抱えたらどうでしょうか。相続は、誰に相談すべきか分からず、またデリケートな問題ゆえに職場では打ち明けにくいものです。その不安や負担は、仕事のパフォーマンスにも影響を及ぼしかねません。

社員の皆さまが安心して働ける環境づくりを支援するため、資産承継チームのパートナーである「相続手続支援センター関西」が開始した新サービスをご案内いたします。法人として本サービスにご登録いただくことで、従業員の皆さまは相続に関する不安や「何から始めればよいのか」といった疑問を、専門家に直接相談できるようになります。身近に頼れる窓口があることは、もしもの時の大きな安心となり、実質的な福利厚生としてご活用いただけます。

今月の新聞には案内チラシも同封しております。大切な社員の皆さまが一人で悩まずに済むよう、この機会にぜひご検討ください。



今月の言葉



次の本は… 「超訳 カーネギー 人を動かす」



現在の1冊

(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン発行

デール・カーネギー (1888-1955年) 米国の著述家、教育者、実業家

自己啓発書の原点として知られる、自己啓発の概念を体系化したアメリカの教育者です。成功哲学が「精神論」で語られがちだった20世紀前半において、心理学に基づいた具体的な行動原則を提唱し、ビジネスやコミュニケーションのあり方を近代化させました。

先月のヒトコマ

インターン卒業発表会が
行われました！



編集部より

編集部の木下です。1月はあっという間に過ぎ去り、月末にはインターン生の卒業発表が行いました。卒業発表では、インターン生が思い出深い業務やイベントを振り返り、皆で楽しい時間を共有することができました。

また、今回の「補助金プラスよりご案内」では、今月お客様から寄せられたお問い合わせ内容より掲載しています。皆様の関心が高い内容かと思いますので、ご参考になれば幸いです。



しごと図鑑🔍スタッフ森田さんの1ヶ月に密着！

どんな業務をどのように行っているのか、同じ職場でも意外と詳しく知らないことが多いかもしれません。そこで、この特集ではスタッフ一人ひとりに焦点を当ててご紹介します。今月の主役は森田さんです！チームでの役割や日々の業務、さらにはちょっとしたこだわりまで、ある1ヶ月の仕事を少し覗いてみましょう。

◆ どんなお仕事をしていますか？



私、スタッフ森田は入社7年目で、「税務会計チーム」と「経理総務部」に所属しています。どの仕事においても人に対して誠実に向き合うこと、そして実務においては丁寧さを意識しています。

2025年11月の業務割合



◆ 税務会計チームでは何を担当していますか？

税務会計チームでは、法人や個人の月次会計および決算業務を担当しています。今月（※執筆時は11月）は法人5件の決算と、月次を行っています。

今年から引き継いだ月次訪問では、毎月2社にお伺いしています。月次訪問では、お客様からのご質問にお答えしたり、監査・報告業務を行っています。訪問時以外でも、お客様からご質問をいただくことが多くあります。

こうした機会は、お客様が抱える疑問や不安を解消し、より良い信頼関係を築くためにも大切だと感じています。そのため、常にお客様に対して誠実さと丁寧さをもって対応することを心がけています。



◆ お客様への丁寧な報告の姿勢はどのような経験から培われたものなのでしょうか？

所内では、税務会計の仕事をインターン生に教えることもあります。その際、「どうすれば相手に最も伝わりやすくなるか」を意識し、伝え方を工夫しています。

この「伝える力」を磨く意識は、お客様へのご報告時にも共通のことだと考えています。

お客様の立場に立ち、相手にとってわかりやすい言葉でお伝えするという意識は、こうした所内での経験から培われてきたものだと感じます。

◆ 経理総務部ではどんなことをしていますか？

経理総務部では、報酬の自動振替の推進、個人確定申告報酬の見積もりのご案内と見積書作成、電子契約の導入推進など、お客様の利便性向上に繋がるタスクが進行中です。

これらはお客様の信頼に直結する重要な業務であるため、タスク管理、スケジュール立案、役割分担を明確にすることで、各業務が円滑に進むよう進捗管理とサポートを徹底しています。

◆ 最後に、今後やってみたいお仕事について教えてください。

今後は、お客様の経理に関するお困りごとを解決する経理コンサルティング（※経理のしくみづくりの支援）に特に力を入れていきたいと考えています。

「もっと楽にしたい」と感じる作業を解消できれば、お客様がその時間を新たなことに充てられます。そのためにも、まずは「何にお困りなのか」をお伺いするヒアリングの機会を増やしていければと思います。

一ありがとうございました！

お客様の不安や疑問の解消のために、誠実さと丁寧さを心がけているというお話が印象的でした。

これからもお客様に寄り添い、信頼される存在であり続けてください！

補助金プラスよりご案内

販路開拓を支援する補助金「小規模事業者持続化補助金」

最大25%のウェブ費と他経費を組み合わせ 販促効果向上に！

小規模事業者持続化補助金では、ウェブ関連費を全体の1/4まで活用可能です。残りの3/4はチラシや看板、店舗改装など幅広く組み合わせられますが、目的の統一が採択の鍵。求人や会社紹介目的のHPは販促と見なされにくいため、申請時は「販路開拓」「売上向上」などに直結する内容に絞ることが大事です。

補助金についてもっとお知りになりたい方は、右のQRコードからどうぞ！



株ミライズ「補助金プラス」
公式LINE



2026.2



長田会計事務所NEWS LETTER

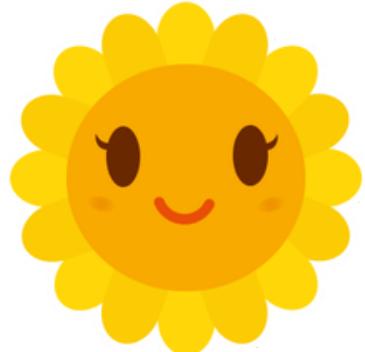


2

2026 POLICY PAMPHLET

長田会計事務所 経営方針書

長田会計事務所の仕事は、
すべて「未来」のために。



2026年度 長田会計事務所 経営方針

2026 NEW SLOGAN

『長田会計事務所の仕事は、
すべて「未来」のために。』

～入り口を「未来会計」に変え、経営会議をすべての企業の当たり前にする～

挨拶



「過去」を確認する会計から、
「未来」を創るための会計へ。

本年は「すべての仕事は、未来のために」という新スローガンのもと、全業務を未来へ繋げる挑戦の年です。経営方針書の通り、私たちは「未来会計」を取り口に、すべての企業で経営会議が当たり前に行われる文化を目指します。AI等の活用で生み出した時間は、皆様との「対話」に注ぎます。

チーム一丸となり、一社一社の未来を共に創るパートナーとして邁進してまいりますので、2026年もどうぞよろしくお願ひいたします。

長田会計事務所 税理士 長田雅子

2026年 全体方針

専門性を高める × 生産性を高める

経営企画部は、事務所全体の基本方針として「専門性を高める」「生産性を高める」の2つを掲げました。税務会計だけでなく、未来会計や資産承継を通じて包括的な支援を行うため、最新の知識や情報を提供し、効率化を図りながら業界の一歩先を行く新たな価値を生み出します。



売上構造の転換

税務会計・未来会計・資産承継の多彩なサービスで、企業の未来を創出します。



顧問先検討会

毎週の検討会で全社の知見を集めて事務所全体の専門性を高め、お客様へ課題解決策を提案します。



人事評価の確立

目標管理と連動させ、個人の成長と挑戦を正当に評価する仕組みを作ります。



AIツールの活用

経営判断に必要な材料を提供するため、最新AIにより作業を短縮し、生産性を高めます。

各チーム・部の2025年の成果と2026年の方針

2025年の振り返りとともに、専門性と生産性を向上させるための目標を発表いたします。
この目標を通じて、私たちはお客様にとって信頼される存在であり続けることを目指します。
皆様の期待にお応えするため、全力で取り組んでまいります！

税務会計チーム

2025年 結果

26社の決算検討会実施。MFクラウド導入14件。ブログ・動画12件。作業に追われた反省を活かし効率化を徹底します。

2026年 目標

専門性 知識で「未来」を拓く

経営課題の発見とトータル支援、創出した時間での研鑽と最新知識の提案。

生産性 作業を自動化し、提案へリソースを集中

業務プロセス短縮による試算表早期化、AI(Taxsys/MF)活用による仕訳自動化。

未来会計チーム

2025年 結果

「未来会計」ブランド化。ヒアリング8件、塾に4社参加。25社へワクワクする経営計画立案会議を提供しました。

2026年 目標

専門性 経営の伴走者として会議の質を高める

本質を問う「質問力」深化、経営知見の体系化、高度な管理会計の活用。

生産性 「会議=対話の時間」へリソースを集中する

システム操作のシンプル化、AI議事録導入による負担削減、適切な日程管理。

資産承継チーム

2025年 結果

相続・贈与シミュレーション4件、相続丸ごとサポート8件、株式評価6件を実施しました。

2026年 目標

専門性 将来の相続・事業承継に安心を

「円滑なバトンタッチ」の支援、書面添付による税務調査リスクの低減。

生産性 相続の対応を丁寧に

支援センターとの連携強化による迅速な資料収集、マニュアル化による標準化。

経理・総務部

2025年 結果

報酬自動支払制度の法人の振替普及率85%、インターン採用応募17名を達成しました。

2026年 目標

専門性 安心と成長を支える

全社契約書の標準化、バックオフィス業務の整理、予算管理のしくみ構築。

生産性 DXの推進

請求書電子化、オンライン手続き推進によるお客様と自社の事務負担大幅削減。

広報部

2025年 結果

HPリニューアルと効果分析習慣化に成功。省リソースで評価の高いコンテンツを維持する仕組みづくりができました。

2026年 目標

専門性 長田会計らしいブランディングをする

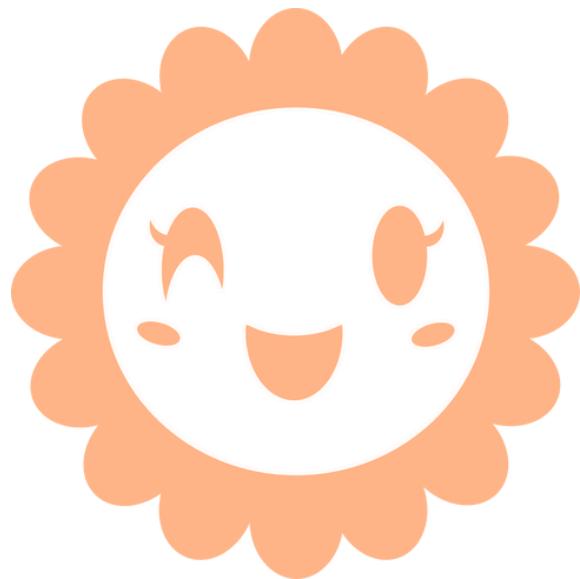
現在・未来のお客様、未来に共に働く仲間それぞれの心に響くブランディング制作。

生産性 人ならではの業務へリソースを集中する

AI活用によるルーティン効率化、企画等の「人にしかできない業務」への集中。

2026年も、より良いサービスを提供できるよう、一層努力してまいります。
引き続きよろしくお願いいたします！！





**NAGATA KAIKEI JIMUSHO
2026 POLICY PAMPHLET**